

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち																
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める																
	1 目	一般管理費		(2)	市民参加を促進する																
小 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																				
事 業 名	市政功労者表彰事業																				
目的及び事業内容	<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																				
取 組 実 績	<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、98名の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、78名・2団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、河北総合センターにおいて表彰式を開催し、56名の功労者が出席された。 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																				
成 果	<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度別取組実績</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>140人</td> <td>96人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>115人 (82.1%)</td> <td>77人 (80.2%)</td> <td>80人 (81.6%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>76人 (66.1%)</td> <td>57人 (74.0%)</td> <td>56人 (70.0%)</td> </tr> </tbody> </table>					年度別取組実績	H19	H20	H21	市政功労者推薦者数	140人	96人	98人	市政功労者決定者数	115人 (82.1%)	77人 (80.2%)	80人 (81.6%)	表彰式出席者数	76人 (66.1%)	57人 (74.0%)	56人 (70.0%)
年度別取組実績	H19	H20	H21																		
市政功労者推薦者数	140人	96人	98人																		
市政功労者決定者数	115人 (82.1%)	77人 (80.2%)	80人 (81.6%)																		
表彰式出席者数	76人 (66.1%)	57人 (74.0%)	56人 (70.0%)																		
成果に係る評価	<p>市政功労者表彰制度については、市民の間で定着しているが、表彰制度の価値を高めていくため、表彰基準の見直しなどを行う必要がある。</p>																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	382,000	364,377				364,377															

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める
	1 目	一般管理費		(2)	市民参加を促進する
小 事 業	広聴事業関係費				
事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容	<p>市民の誰もが、市政に参加しやすい環境づくりを行うとともに、対話を重視しながら市民から直接市政に対する意見を聞くなど、市政に反映させる市民双方向型のまちづくりを目指す。</p> <p>事業内容として、まちづくり懇談会、市政提案制度、市政モニター、市長室開放デー、移動市長室、陳情要望受付、苦情等市民相談、法律相談、市政教室等を実施した。</p>				
取 組 実 績	<p>1 まちづくり懇談会・・・13回開催、384人参加</p> <p>2 市政提案・・・133件 提案ポスト23件、郵送14件、電子メール27件、FAX2件、来庁67件</p> <p>3 市政モニター・・・町内会・行政区推薦47人 公募13人 計60人、提案 30件</p> <p>4 市長室開放デー・・・5回開催、74人来訪（53組）</p> <p>5 移動市長室・・・6回開催、114人来訪（49組）</p> <p>6 陳情・要望・・・73件 総務部15件、企画部10件、生活環境部7件、保健福祉部5件、産業部14件、建設部11件、教育委員会5件、総合支所5件、病院1件</p> <p>7 苦情等市民相談・・・73件 総務部25件、企画部4件、生活環境部4件、保健福祉部11件、産業部3件、建設部12件、教育委員会3件、総合支所7件、病院3件、その他1件</p> <p>8 法律相談・・・24回開催、187件 金銭貸借30件、不動産23件、相続33件、離婚37件、親族14件、その他50件</p> <p>9 市政教室・・・一般市民対象：8回開催、107人参加 親子対象：1回開催、11人参加</p> <p>10 市民意識調査・・・調査期間8月1日～8月14日、調査票配布数 2,560人、回収数 1,016人、回収率 39.68%</p> <p>11 パブリックコメント・・・8件の計画等に対する意見募集</p>				
成 果	<p>市民が直接市長と対話する機会を設定した事業においては、市民の意見や要望に対し、市長が直接考え方を述べるなど、市民にとって、より市政を身近なものに感じ、更なる市政への関心を高めることができた。</p> <p>また、個別的な広聴事業の中の相談関係において、解決に向けた方法を助言することにより、市民の不安解消や生活環境の向上が図られたほか、市政提案等に寄せられた意見・要望に迅速に対応することにより、市政参加への意識の高揚が図られた。</p>				
成果に係る評価	<p>現在の事業は、市民の間に充分浸透し、有効であると思料されるが、今後、まちづくり懇談会への参加対象を拡大することや、様々な手段を活用し幅広い意見交換の場を設けるよう検討する必要がある。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	2,148,000	2,066,286			

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する

小 事 業	情報公開推進費
-------	---------

事 業 名	情報公開・個人情報保護事業
-------	---------------

目的及び事業内容	(1) 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。 (2) 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示及び訂正を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。
----------	--

取 組 実 績	1	公文書開示請求の決定状況																									
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="6">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>開示拒否</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> <tr> <td>108件</td> <td>44件</td> <td>45件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> <td>9件</td> <td>4件</td> </tr> </table>	開示請求件数	請求に対する決定等						開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下	108件	44件	45件	1件	5件	9件	4件					
	開示請求件数	請求に対する決定等																									
		開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																				
108件	44件	45件	1件	5件	9件	4件																					
2	個人情報開示請求の決定状況																										
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="6">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>開示拒否</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> <tr> <td>18件</td> <td>10件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </table>	開示請求件数	請求に対する決定等						開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下	18件	10件	3件	0件	4件	1件	0件						
開示請求件数	請求に対する決定等																										
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																					
18件	10件	3件	0件	4件	1件	0件																					
3	不服申立ての状況																										
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">不服申立件数 (諮問)</th> <th colspan="6">申立てに対する処理状況等</th> <th colspan="2">審査会の状況</th> </tr> <tr> <th>却下</th> <th>棄却</th> <th>認容</th> <th>一部認容 (前年度 繰越分)</th> <th>取下</th> <th>次年度 繰越</th> <th>審査会 開催数</th> <th>答申</th> </tr> <tr> <td>3件 (3件)</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>13件</td> <td>3件</td> </tr> </table>	不服申立件数 (諮問)	申立てに対する処理状況等						審査会の状況		却下	棄却	認容	一部認容 (前年度 繰越分)	取下	次年度 繰越	審査会 開催数	答申	3件 (3件)	0件	1件	1件	1件	0件	1件	13件	3件
不服申立件数 (諮問)	申立てに対する処理状況等						審査会の状況																				
	却下	棄却	認容	一部認容 (前年度 繰越分)	取下	次年度 繰越	審査会 開催数	答申																			
3件 (3件)	0件	1件	1件	1件	0件	1件	13件	3件																			
4	情報公開コーナーの利用状況																										
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">利用件数</th> <th colspan="3">利用件数の内訳</th> </tr> <tr> <th>行政資料等の複写</th> <th>行政資料等の閲覧</th> <th>その他相談等</th> </tr> <tr> <td>293件</td> <td>66件</td> <td>119件</td> <td>108件</td> </tr> </table> <p>広報広聴事業と連携した情報提供施策を展開するため、庁舎移転に際し、情報公開コーナーを広報広聴課内に設置し、利用者の利便性の向上を図った。</p>	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の複写	行政資料等の閲覧	その他相談等	293件	66件	119件	108件															
利用件数	利用件数の内訳																										
	行政資料等の複写	行政資料等の閲覧	その他相談等																								
293件	66件	119件	108件																								

成 果	1	情報公開 情報公開コーナーに情報公開推進員を配置したことにより、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。また、公文書の開示請求に対し適切な開示を行うとともに、不服申立てに対して、石巻市情報公開・個人情報保護審査会からの答申を尊重し、当該不服申立てに対する決定を行うなど情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。
	2	個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、個人情報の取扱いに対する個人の関心に適切に対応し、本人に対し個人情報の開示を行ったことにより、不正確な情報によって個人が不測の不利益を被ることを未然に防止することができた。

成果に係る評価	公文書の開示請求については、請求内容が詳細・広範囲にわたるものが多いことから、その情報の内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、画一的、一律的に決定することのないよう、適正かつ迅速な情報公開事務に努めていくべきである。また、情報の一層の公開を図るため、市民に必要な情報を積極的に提供する情報提供施策の充実を図り、情報公開を総合的に推進していくべきである。 個人情報保護については、今後も引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な取扱いの確保に努めるべきである。
---------	--

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,393,899	2,382,902			107,620	2,275,282

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する
小 事 業	広報活動費				
事 業 名	「市報いしのまき」発行事業				
目的及び事業内容	<p>広報媒体としての市報を発行することにより、市政の現状や施策等の内容など各種の市政情報を広く市民に周知し、市政運営についての関心を高める。</p> <p>事業内容として、市報を毎月発行したほか特別号を1回発行した。</p>				
取 組 実 績	<p>市の主要な施策や市の取り組み等を、特集などにより、よりわかりやすく説明するほか、知ってもらいたい市政情報を適時掲載した。</p> <p>市民に親しまれるような広報紙となるように、市民が登場するコーナーの充実を図った。</p> <p>〔市報発行〕 毎月1日発行、発行部数63,500部、一色刷り（白黒）、32ページ</p> <p>特集内容 ・施政方針、予算 ・新市長就任 ・夏休み親子体験活動 ・コラボスクール推進事業 ・母なる北上川 ・秋のイベント情報 ・子どもの権利条例 ・市長の年頭のあいさつ、市民による新年の抱負 ・家庭ごみの分け方出し方 ・食育の推進 ・市民憲章</p> <p>〔特別号発行〕 平成22年3月1日発行、発行部数64,000部、表紙・裏表紙四色刷り（カラー）その他のページ二色刷り、8ページ</p> <p>特集内容 ・新庁舎移転</p>				
成 果	<p>市の施策や各種行事、相談所案内など暮らしに役立つ情報を定期的に提供することにより、市政に対する理解を深めることができた。</p> <p>また、身近で親しみやすい紙面として、市民が紙面に登場する機会を持ち、その活動を紹介することなどにより、市民相互の情報の共有化に役立った。</p>				
成果に係る評価	<p>より多くの市政情報を発信するために、内容やレイアウトなどの工夫を図り、市民が読みやすい広報紙の作製に努めたが、限られた紙面に対し、伝えたい情報が多いことから、今後も、コストに配慮しながら、より詳しく、より読み易い紙面作りが必要である。</p>				
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
	14,629,073	13,850,103	27,000		6,693,750

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する	
	6 目	企画費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる	
小 事 業	高等教育機関関係費					
事 業 名	石巻専修大学創立20周年記念事業					
目的及び事業内容	石巻専修大学の一層の地域貢献と社会知性の発信に寄与することを目的に、大学が行う創立20周年記念事業に対し補助金を交付した。 当該事業として、大学では、大学主催事業、地域連携事業、学生会・同窓会・校友会連携事業を実施した。					
取 組 実 績	1 石巻専修大学共創研究センター設置記念講演会・同記念祝賀会 期日：平成21年6月20日（土） 会場：石巻専修大学5号館 2 石巻専修大学共創研究センタープロジェクト (1) ギンザケのアイブス（EIBS）感染症の防除並びに同ウイルスの人為感染に伴う食と環境のリスク軽減を目指した安全性確保技術の確立 (2) バイオリアクターによる水浄化システムの改良および浄化メカニズムの原因追究を主軸とする、水環境改善の技術的・教育的研究 (3) 地域問題解決型金融システムの構築 (4) 宮城県東部地域の観光資源開発 (5) チャレンジショップの創業期における経営課題 (6) エンジョイ・スーパーサイエンス 3 青少年のための科学の祭典2009 期日：平成21年8月15日（土）、16日（日） 会場：石巻専修大学2号館 4 石巻専修大学図書館「絵本原画展」 期日：平成21年10月10日（土）、11日（日） 会場：石巻専修大学図書館 ※上記のほか、青少年交流事業、学生用オープンスペース整備などを実施した。					
成 果	1 石巻専修大学共創研究センター設置記念講演会・同記念祝賀会 地域連携活動及び教育研究活動を通じて、地域の産業及び文化その他諸領域の課題について、共同研究を推進することにより、地域の持続的発展並びに石巻専修大学の研究活動の強化及び学際的教育研究分野の開拓に資することを目的とし、「石巻専修大学共創研究センター」が設置された。 この設置を記念し、記念講演会及び記念祝賀会が開催されたものである。 講演会演題：「社会知性の開発」、講演会講師：学校法人専修大学 理事長 日高義博 講演会参加者：約100人、祝賀会参加者：約100人 2 石巻専修大学共創研究センタープロジェクト 平成21年度においては、各種プロジェクトに取り組み、平成22年3月11日（木）に石巻専修大学において、関係官庁等の関係者を招き、プロジェクト発表会（中間発表）を実施した。 3 青少年のための科学の祭典2009 入場者：平成21年8月15日（土）1,573人、16日（日）1,694人、合計3,267人（延べ人数） 4 石巻専修大学図書館「絵本原画展」 入場者：平成21年10月10日（土）130人、11日（日）193人、合計323人（延べ人数） ※上記のほか、青少年交流事業、学生用オープンスペース整備などを実施した。					
成果に係る評価	平成21年度に新たに設置された石巻専修大学共創センターにより地域の課題にかかわるプロジェクトも採択され、実施された。石巻専修大学共創研究センターが設置されたことで、今後、地域課題の解決に向けたシンクタンク機能が期待される。 また、青少年のための科学の祭典2009により子どもが科学のおもしろさを実感する機会や、石巻専修大学図書館「絵本原画展」などの開催により市民が大学に足を運び雰囲気を感じる機会を創出することができた。					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	10,000,000	10,000,000				10,000,000

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	
	1 項	総務管理費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する	
	6 目	企画費		(1)	魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る	
小 事 業	マンガ構想推進関係費					
事 業 名	マンガランド構想推進事業					
目的及び事業内容	<p>マンガの持つ特性を活かし、地域活性化と市民の方々が生き生きと暮らせるまちづくりを推進するとともに、マンガ文化を活かした地域づくりに取り組む市町村との共同事業を実施することにより、地域間交流を積極的に展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガジャパンとの交流事業 ・他市町村との交流事業 ・マンガを活かしたまちづくり推進事業 					
取 組 実 績	<p>1 マンガジャパンとの交流事業</p> <p>(1) マンガアイランド新ロッジ3棟の建設に際し、マンガジャパン会員のマンガ家3名によりロッジに絵を描いていただいた。</p> <p>(2) マンガジャパン新春の会出席 平成22年 2月26日 (金)</p> <p>2 他市との交流事業・・・みちのくマンガロード連絡協議会への参加</p> <p>(1) 【事業名】ぐるっと一周みちのくマンガロードスタンプラリー 【主催団体名】みちのくマンガロード連絡協議会 【達成者】57名 【事業内容】平成21年3月からの高速道路ノンストップ料金収受システム(ETC)割引制度効果を活用し、構成市のマンガ関連施設(石巻市、登米市、秋田県横手市、岩手県遠野市)のスタンプラリーを実施し、構成市の連携強化による集客数増と市民交流を図った。</p> <p>(2) 【事業名】2009まんのまちなち人・自然・ふれあい交流活動 【主催団体名】石巻市子ども会育成会石巻支部 【参加者】63名 【事業内容】石巻市内の小学校4年生から6年生までを対象に50名を募集し、横手市増田町と石巻市の子どもたちとの自然体験学習による交流を行った。 【実施日】平成22年2月13日(土)～2月14日(日)</p> <p>3 マンガを活かしたまちづくり推進事業 会場:石ノ森萬画館</p> <p>(1) 第9回石巻マンガ灯ろう祭りへの協力 集客数約8,000人、開催日:平成21年9月12日(土)</p> <p>(2) 萬画の国いしのまき推進委員会事業への協力 第7回矢口高雄釣り大会の運営へ協力した。参加者267名 開催日:平成21年7月19日(日)</p>					
成 果	<p>1 マンガジャパンの指導助言、協力をいただきながら、マンガを活かしたまちづくりを促進し、石巻市のPRを行った。</p> <p>2 マンガ文化を活かした地域づくりに取り組む他市との連携を深め、地域情報の効果的な発信と地域間交流を展開した。</p> <p>3 マンガ及びマンガ的発想を地域活性化に活用し、市民一人ひとりが夢を持てるまちづくりを促進するため、官民一体となり、事業を展開した。</p>					
成果に係る評価	<p>マンガ文化を活かした地域づくりに取り組む各市が密接に連携し、事業を推進することができた。また、マンガを活かしたイベントを行うことによって、子どもたちが親とふれあい、石巻のよさにふれあうとともに、ふるさとへの思い出を作ることができ、地域愛の醸成が図られた。今後も、各市と連携したPR事業の継続的な実施とマンガを活かしたまちづくり事業を推進する。</p>					
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	154,000	151,160				151,160

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める	
	7 目	地域振興費		(2)	市民参加を促進する	
小 事 業	地域まちづくり事業費					
事 業 名	地域まちづくり委員会事業					
目的及び事業内容	地域の活性化や地域の均衡ある発展を図るため、地域住民と行政が協働し、地域づくりを進められる仕組みとして、旧町単位に設置し、まちづくりの推進や提言を行うことを目的とする。					
取 組 実 績	<p>1 河北地域まちづくり委員会 (3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提言書の提出について ・ 石巻市の組織機構改革について ・ 総合計画実施計画について ・ 新市まちづくり計画の進捗状況について <p>2 雄勝地域まちづくり委員会 (4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりについて ・ 地域の現状と課題について ・ 総合計画実施計画について ・ 新市まちづくり計画の進捗状況について <p>3 河南地域まちづくり委員会 (4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動テーマの選定について ・ お互いに支え合う生活ができるまちづくりについて ・ 災害に対して備えるまちづくりについて ・ 石巻市の組織機構改革について ・ 新市まちづくり計画の進捗状況について ・ 総合計画実施計画について <p>4 桃生地域まちづくり委員会 (3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会のあり方について ・ 新市まちづくり計画の進捗状況について <p>5 北上地域まちづくり委員会 (4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり委員会のあり方について ・ 地域づくり基金事業助成金について ・ 総合計画実施計画について ・ 北上地区の地域課題について ・ 石巻市の組織機構改革について <p>6 牡鹿地域まちづくり委員会 (2回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石巻市の組織機構改革について ・ 新市まちづくり計画の進捗状況について ・ 平成22年度の牡鹿地区の実施予定事業について 					
成 果	<p>各地域まちづくり委員会において、地域の現状や課題の共有化と地域の活性化について意見交換を行うことができた。</p> <p>また、各地域における地域課題の解消に向け、さらには、地域の特色を活かしたまちづくりを進めるため、各地域でどのような施策が必要なのかについて協議を行った。</p>					
成果に係る評価	<p>各地域まちづくり委員会において、当該地域の活性化のために、地域で重点的に取り組む事項についてテーマを定め検討を行ない、地域の魅力を再確認することができた。</p> <p>また、地域のまちづくり施策への提案を行うなど、行政と地域との協働のまちづくりに貢献した。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況			決算額の財源内訳			
	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,804,775	2,720,028			150,000	2,570,028

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち																																																																					
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる																																																																					
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる																																																																					
小 事 業	地域まちづくり事業費																																																																									
事 業 名	地域づくり基金事業助成金																																																																									
目的及び事業内容	市民が行政と協働のまちづくりにより実施する事業や市全域のまちづくりのために地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、助成金を交付し支援する。																																																																									
取 組 実 績	1 新規助成団体数 7団体 (本庁分3件、河北1件、河南1件、桃生1件、牡鹿1件) 2 継続助成団体数 13団体 (本庁分8件、河北1件、河南1件、桃生2件、北上1件) 計 助成団体数 20団体 (本庁分11件、河北2件、河南2件、桃生3件、北上1件、牡鹿1件)																																																																									
成 果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体名</th> <th>決算額</th> <th></th> <th>団体名</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>表千家石巻教授者会</td> <td>300,000円</td> <td>12</td> <td>河北地区少年野球連絡協議会</td> <td>245,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特定非営利活動法人 障害児と共に歩む会</td> <td>266,000円</td> <td>13</td> <td>石巻かほく商工会青年部</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>石巻茶色い焼きそばアカデミー</td> <td>300,000円</td> <td>14</td> <td>ふれあい会</td> <td>152,000円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>石巻まちづくりギルド</td> <td>290,000円</td> <td>15</td> <td>河南鹿嶋ぼやし保存会</td> <td>206,000円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>リトミックサークル・リトミックキッズ</td> <td>130,000円</td> <td>16</td> <td>河南桃生商工会青年部</td> <td>218,000円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>石巻を考える女性の会</td> <td>300,000円</td> <td>17</td> <td>水と緑の環境フォーラム・ものう</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>向陽っ子安全見守り隊</td> <td>300,000円</td> <td>18</td> <td>スポーツふれあい交流会</td> <td>148,000円</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>-ACT- 石巻若者ネットワーク</td> <td>288,000円</td> <td>19</td> <td>新古里村ほたる会</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>大泊地区行政区</td> <td>300,000円</td> <td>20</td> <td>あじ朗志組</td> <td>104,000円</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>石巻市民劇団設立準備委員会</td> <td>300,000円</td> <td colspan="3" rowspan="2" style="text-align: center;">申請20件 合計 4,868,000円</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>特定非営利活動法人 夢みの里</td> <td>121,000円</td> </tr> </tbody> </table>						団体名	決算額		団体名	決算額	1	表千家石巻教授者会	300,000円	12	河北地区少年野球連絡協議会	245,000円	2	特定非営利活動法人 障害児と共に歩む会	266,000円	13	石巻かほく商工会青年部	300,000円	3	石巻茶色い焼きそばアカデミー	300,000円	14	ふれあい会	152,000円	4	石巻まちづくりギルド	290,000円	15	河南鹿嶋ぼやし保存会	206,000円	5	リトミックサークル・リトミックキッズ	130,000円	16	河南桃生商工会青年部	218,000円	6	石巻を考える女性の会	300,000円	17	水と緑の環境フォーラム・ものう	300,000円	7	向陽っ子安全見守り隊	300,000円	18	スポーツふれあい交流会	148,000円	8	-ACT- 石巻若者ネットワーク	288,000円	19	新古里村ほたる会	300,000円	9	大泊地区行政区	300,000円	20	あじ朗志組	104,000円	10	石巻市民劇団設立準備委員会	300,000円	申請20件 合計 4,868,000円			11	特定非営利活動法人 夢みの里	121,000円
	団体名	決算額		団体名	決算額																																																																					
1	表千家石巻教授者会	300,000円	12	河北地区少年野球連絡協議会	245,000円																																																																					
2	特定非営利活動法人 障害児と共に歩む会	266,000円	13	石巻かほく商工会青年部	300,000円																																																																					
3	石巻茶色い焼きそばアカデミー	300,000円	14	ふれあい会	152,000円																																																																					
4	石巻まちづくりギルド	290,000円	15	河南鹿嶋ぼやし保存会	206,000円																																																																					
5	リトミックサークル・リトミックキッズ	130,000円	16	河南桃生商工会青年部	218,000円																																																																					
6	石巻を考える女性の会	300,000円	17	水と緑の環境フォーラム・ものう	300,000円																																																																					
7	向陽っ子安全見守り隊	300,000円	18	スポーツふれあい交流会	148,000円																																																																					
8	-ACT- 石巻若者ネットワーク	288,000円	19	新古里村ほたる会	300,000円																																																																					
9	大泊地区行政区	300,000円	20	あじ朗志組	104,000円																																																																					
10	石巻市民劇団設立準備委員会	300,000円	申請20件 合計 4,868,000円																																																																							
11	特定非営利活動法人 夢みの里	121,000円																																																																								
成果に係る評価	申請件数は前年度と同数の22件の申請があり、うち公開プレゼンテーションによる市民審査により採択された20件の事業が実施され、市民による一体感の醸成と、地域コミュニティの活性化や協働のまちづくりを推進することができた。																																																																									
(単位：円)																																																																										
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																																																							
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
	5,000,000	4,868,000			4,868,000																																																																					

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち															
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる															
	8 目	離島振興費		(1)	個性ある地域をつくる															
小 事 業	離島振興対策費																			
事 業 名	離島振興対策事業																			
目的及び事業内容	現在、網地島、田代島に暮らす人々、今後島外から移住してくる人々、島を訪れる観光客、それぞれが「住みつけたい島」、「住んでみたい島」、「また来たくなる島」を目指し、各種のイベントや案内人制度を実施した。																			
取 組 実 績	<p>1 石巻市愛ランドプランの進行管理 愛ランド推進委員会を開催し、愛ランドプランに掲げた事業の実現に向けた施策の検討等を行った。 また、愛ランドプランの重点事業のひとつである「いしのまき愛ランド総合ガイドブック」1,000部を作成し、網地島及び田代島の宿泊施設に配布し、離島の魅力について情報発信した。</p> <p>2 田代島公演会～活気ある田代島をもう一度～の開催 (宮城県離島協議会平成21年度離島活性化支援事業) ピアノ演奏家、島出身者・親族等によるピアノコンサートを開催し、島民と出身者等との交流を図った。 開催日：平成21年10月18日(日)、会場：田代島開発総合センター 来場者数：約50名</p> <p>3 網地島内散策マップ製作事業(宮城県離島協議会平成21年度離島活性化支援事業) 来島者に、網地島の豊かな自然などの魅力を実感してもらうために、案内マップを製作した。 作成部数：2,000部(カラーA3両面)</p> <p>4 島暮らし案内人制度の実施 愛ランド推進委員会委員の協力を得て、離島への移住希望者に対し、現地における案内や移住に関する相談を実施し、移住交流の促進が図られた。 網地島：2回2名、田代島3回3名、計5回5名の実施</p>																			
成 果	<p>各種振興施策の実施により、少数ではあるものの毎年移住される方がおり、今後も積極的な離島振興策に取り組んでいく必要がある。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>網地島・田代島への移住人口</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>交流人口(観光客入込み数)</td> <td>38,456人</td> <td>22,860人</td> <td>33,110人</td> <td>38,075人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H18	H19	H20	H21	網地島・田代島への移住人口	1人	2人	1人	4人	交流人口(観光客入込み数)	38,456人	22,860人	33,110人	38,075人
主な指標項目	H18	H19	H20	H21																
網地島・田代島への移住人口	1人	2人	1人	4人																
交流人口(観光客入込み数)	38,456人	22,860人	33,110人	38,075人																
成果に係る評価	<p>離島住民による自主的な活性化が推進されるよう、その支援に取り組むとともに、島のPRに努めた結果、少数ではあるものの毎年、移住者の実績に繋がっている。 今後も人口の減少や高齢化の進展、産業活動の低迷が進んでいる離島の活性化に向けて、定住人口や交流人口を増加させるために石巻市愛ランドプランに掲げた事業を着実に推進していく。</p>																			
予算の執行状況	(単位：円)																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
2,663,470	2,656,738				2,656,738															

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち												
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する												
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する												
小 事 業	離島振興対策費																
事 業 名	離島航路維持事業																
目的及び事業内容	<p>島と本土をつなぐ離島住民の生活を支える重要な生活基盤としての離島航路の維持・確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路事業者が安定した運航を行えるように支援するとともに運転資金を貸付 ・夜間における救急患者の搬送を行うための、船舶の待機に対する支援 																
取 組 実 績	<p>1 国、県補助金の安定確保 県内の離島を有する4市町で構成する宮城県離島振興協議会による宮城県知事等へ離島航路補助制度の維持及び拡充について要望を行った。</p> <p>2 離島航路事業経営安定資金貸付の実施 航路事業者が当該事業上必要とする資金の融通を円滑にすることにより、その経営の安定に資するため、事業資金の貸付を実施した。</p> <p>3 田代島緊急医療対策補助金の交付 夜間における救急患者の搬送を行うための船舶及び船員の待機に対する支援を行った。</p> <p>4 離島航路運航調整会議の開催 航路の利便性を高めるための検討・協議を行うため、網地島及び田代島の代表者と航路事業者が参加する調整会議を実施し、離島航路の運航ダイヤに係る調整等を行った。</p>																
成 果	<p>航路確保の施策等を講じたことで、安定した航路の運航が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間運航回数</td> <td>3,565回</td> <td>3,366回</td> <td>3,736回</td> </tr> <tr> <td>年間乗客者数</td> <td>69,837人</td> <td>67,459人</td> <td>73,144人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	年間運航回数	3,565回	3,366回	3,736回	年間乗客者数	69,837人	67,459人	73,144人
主な指標項目	H19	H20	H21														
年間運航回数	3,565回	3,366回	3,736回														
年間乗客者数	69,837人	67,459人	73,144人														
成果に係る評価	<p>島民の理解を得ながら、航路事業者の経営改善と航路の利便性の向上に努めたことに加え、田代島のネコブームの影響もあり、前年度と比較し、大幅に乗客数が増した。</p> <p>離島航路事業は、離島住民の生活を支える重要な生活基盤であり、安定維持が必要であることから、今後も、島民、事業者、自治体の三者で更なる経営改善と利用促進に努めていく。</p>																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
78,272,000	62,677,913	774,188		51,000,000	10,903,725												

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる
	8 目	離島振興費		(1)	個性ある地域をつくる
小 事 業	マンガアイランド整備事業費				
事 業 名	マンガアイランド整備事業				
目的及び事業内容	田代島の豊かな自然環境に親しみ、ふれあう場を設けることにより、自然への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図るため、平成12年度に開設したマンガアイランドへの新ロッジ建設及び既存施設の機能回復を含めた周辺整備を行った。				
取 組 実 績	<p>1 マンガアイランド整備事業</p> <p>【整備内容】</p> <p>ロッジ（定員6名、木造平屋建、延べ面積33.12㎡）3棟 新築 自転車収納庫（木造平屋建 延べ面積14.90㎡）1棟 新築 センターハウス塗装工事 炊事棟外部塗装工事 案内板補修、ロッジネームプレート等作成 電気自転車2台、マウンテンバイク6台（大人用3台、子供用3台）購入（田代島サイクリング用） テントサイト再整備 テントサイト備品購入（テント15張・ガスコンロ16台、テーブルベンチ等） ロッジ内備品購入（テレビ、調理セット等） 外構工事一式</p> <p>【マンガアイランドロッジネーミング募集】</p> <p>既存ロッジ2棟を含めた全5棟のネーミングを募集し、「しま」「しろ」「ちび」「どら」「みけ」に決定し、命名者に対しオープニングセレモニーにおいて表彰式を行った。</p>				
成 果	<p>平成12年度に整備した既存ロッジ2棟に加えて3棟の整備やテントサイトの再整備により、繁忙期におけるリピーター、新規来訪者及び各種団体等に対し施設全体で128名までの宿泊が可能となった。</p> <p>このことにより、来訪者の増加や島民との交流の一層の促進、島への移住・定住促進など、田代島の活性化に大きく寄与することが期待できる。</p> <p>また、田代島散策用サイクリング自転車収納庫をセンターハウス脇に設置することにより、自転車の管理や利便性が向上した。</p>				
成果に係る評価	<p>施設の整備により、来訪者の受け入れ拡大が図られたが、今後も、継続的な情報発信と島の資源を利用した交流プログラム開発等、島民との交流促進や移住・定住策を講じるなど、地域活力の高揚を図る必要がある。</p>				
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
	45,144,862	43,724,912	18,625,000	18,700,000	

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち																																				
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する																																				
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する																																				
小 事 業	地域交通対策関係費																																								
事 業 名	路線バス運行費補助事業																																								
目的及び事業内容	石巻市総合交通計画に基づき、市内における各エリアを結ぶ幹線バス交通と地域内を運行するバス路線を維持するため、運行主体である㈱ミヤコーバスに対し運行費を補助する。 また、国庫補助対象路線については、国と協調補助を行う。																																								
取 組 実 績	<p>平成21年度路線バスの状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>系統数</th> <th>補助の別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鮎川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、市単独補助路線</td> </tr> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> </tr> <tr> <td>三陸線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> </tr> <tr> <td>女川線</td> <td>3</td> <td>国庫補助路線、市単独補助路線</td> </tr> <tr> <td>渡波線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> </tr> <tr> <td>日赤・渡波線</td> <td>3</td> <td>市単独補助路線、自主運行路線</td> </tr> <tr> <td>石巻中里循環線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> </tr> <tr> <td>石巻市内線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>2</td> <td>市単独補助路線、自主運行路線</td> </tr> <tr> <td>桃生線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> </tr> </tbody> </table>					路線名	系統数	補助の別	鮎川線	1	国庫補助路線	石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	石巻免許センター線	1	市単独補助路線	三陸線	1	国庫補助路線	女川線	3	国庫補助路線、市単独補助路線	渡波線	1	市単独補助路線	日赤・渡波線	3	市単独補助路線、自主運行路線	石巻中里循環線	1	市単独補助路線	石巻市内線	1	市単独補助路線	河南線	2	市単独補助路線、自主運行路線	桃生線	1	市単独補助路線
路線名	系統数	補助の別																																							
鮎川線	1	国庫補助路線																																							
石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線																																							
石巻免許センター線	1	市単独補助路線																																							
三陸線	1	国庫補助路線																																							
女川線	3	国庫補助路線、市単独補助路線																																							
渡波線	1	市単独補助路線																																							
日赤・渡波線	3	市単独補助路線、自主運行路線																																							
石巻中里循環線	1	市単独補助路線																																							
石巻市内線	1	市単独補助路線																																							
河南線	2	市単独補助路線、自主運行路線																																							
桃生線	1	市単独補助路線																																							
成 果	<p>幹線、地域内路線のバス運行が維持され、地域の高齢者等の足の確保が図られている。</p> <p>路線数と国・県補助対象路線の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>13路線19系統</td> <td>11路線16系統</td> <td>11路線17系統</td> </tr> <tr> <td>うち国・県補助対象路線数</td> <td>5路線6系統</td> <td>5路線5系統</td> <td>4路線5系統</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H19	H20	H21	路線数	13路線19系統	11路線16系統	11路線17系統	うち国・県補助対象路線数	5路線6系統	5路線5系統	4路線5系統																								
年度	H19	H20	H21																																						
路線数	13路線19系統	11路線16系統	11路線17系統																																						
うち国・県補助対象路線数	5路線6系統	5路線5系統	4路線5系統																																						
成果に係る評価	<p>幹線バス交通の維持により、市内各エリア間の連携が図られるとともに、高齢者や学生の通院・通学などの足の確保が図られた。 今後も、地域の特性、利用状況などを勘案し、地域に合った交通体系を確保しつつ、財政負担の軽減を図るため、路線バスから住民バスへの移行も状況に応じ検討する。</p>																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
57,980,000	57,979,246				57,979,246																																				

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち																																																	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する																																																	
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する																																																	
小 事 業	地域交通対策関係費																																																					
事 業 名	住民バス運行費補助事業																																																					
目的及び事業内容	高齢化の進展やバス路線の廃止に対応し、移動手段を持たない高齢者等が、住み慣れた地域で日常生活上の外出・移動を可能な限り行えるよう、地域住民の代表者が運営主体となって運行する住民バスや乗合タクシーの運行事業に対して支援を行うもの。																																																					
取 組 実 績	<p>市民の交通手段を確保するため、市内8地区の住民バス及び乗合タクシー事業の運行主体である、運行協議会に対し支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>住民バス名</th> <th>運行主体</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>4,247,624円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区運行協議会</td> <td>9,154,075円</td> </tr> <tr> <td>河南地区住民バス</td> <td>河南地区運行協議会</td> <td>3,665,123円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>2,778,083円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>4,065,366円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>2,967,595円</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>1,837,536円</td> </tr> <tr> <td>寄磯前網地区乗合タクシー</td> <td>寄磯前網地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>2,827,000円</td> </tr> </tbody> </table>					住民バス名	運行主体	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	4,247,624円	雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	9,154,075円	河南地区住民バス	河南地区運行協議会	3,665,123円	桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	2,778,083円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	4,065,366円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	2,967,595円	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	1,837,536円	寄磯前網地区乗合タクシー	寄磯前網地区乗合タクシー運行協議会	2,827,000円																						
住民バス名	運行主体	補助金額																																																				
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	4,247,624円																																																				
雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	9,154,075円																																																				
河南地区住民バス	河南地区運行協議会	3,665,123円																																																				
桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	2,778,083円																																																				
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	4,065,366円																																																				
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	2,967,595円																																																				
荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	1,837,536円																																																				
寄磯前網地区乗合タクシー	寄磯前網地区乗合タクシー運行協議会	2,827,000円																																																				
成 果	<p>住民バス・乗合タクシー（一部地域は幹線も含む）の運行により、高齢者をはじめとする地域住民の足が確保されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住民バス名</th> <th colspan="2">H20</th> <th colspan="2">H21</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>5,082人</td> <td>1,592便</td> <td>4,412人</td> <td>1,568便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>15,248人</td> <td>5,268便</td> <td>15,722人</td> <td>5,331便</td> </tr> <tr> <td>河南地区住民バス</td> <td>379人</td> <td>772便</td> <td>512人</td> <td>776便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>2,098人</td> <td>764便</td> <td>1,682人</td> <td>760便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>6,348人</td> <td>1,694便</td> <td>7,696人</td> <td>1,681便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>13,478人</td> <td>4,420便</td> <td>12,402人</td> <td>4,414便</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>12,616人</td> <td>1,456便</td> <td>11,628人</td> <td>1,460便</td> </tr> <tr> <td>寄磯前網地区乗合タクシー</td> <td>1,060人</td> <td>486便</td> <td>1,028人</td> <td>484便</td> </tr> </tbody> </table>					住民バス名	H20		H21		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	5,082人	1,592便	4,412人	1,568便	雄勝地区住民バス	15,248人	5,268便	15,722人	5,331便	河南地区住民バス	379人	772便	512人	776便	桃生地区住民バス	2,098人	764便	1,682人	760便	北上地区住民バス	6,348人	1,694便	7,696人	1,681便	稲井地域乗合タクシー	13,478人	4,420便	12,402人	4,414便	荻浜地区住民バス	12,616人	1,456便	11,628人	1,460便	寄磯前網地区乗合タクシー	1,060人	486便	1,028人	484便
住民バス名	H20		H21																																																			
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																		
河北地区住民バス	5,082人	1,592便	4,412人	1,568便																																																		
雄勝地区住民バス	15,248人	5,268便	15,722人	5,331便																																																		
河南地区住民バス	379人	772便	512人	776便																																																		
桃生地区住民バス	2,098人	764便	1,682人	760便																																																		
北上地区住民バス	6,348人	1,694便	7,696人	1,681便																																																		
稲井地域乗合タクシー	13,478人	4,420便	12,402人	4,414便																																																		
荻浜地区住民バス	12,616人	1,456便	11,628人	1,460便																																																		
寄磯前網地区乗合タクシー	1,060人	486便	1,028人	484便																																																		
成果に係る評価	住民バスや乗合タクシーの運行により、路線バス廃止の対応や交通不便地区解消が図られている。今後は利用者が少ない地区においては、各運行協議会において運行形態の見直しを適宜行って、効果的・効率的な運行がされるようにしていくことが必要である。																																																					
(単位：円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	33,074,000	31,542,402	4,250,000			27,292,402																																																

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち																					
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する																					
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する																					
小 事 業	牡鹿地区市民バス運行事業費																									
事 業 名	牡鹿地区市民バス運行事業																									
目的及び事業内容	路線バスや住民バスが運行されていない地区（牡鹿地区）に市民バスを運行することにより、住民の交通手段の確保を図る。 また、遠距離通学児童・生徒の通学手段としても市民バスの活用を図る。																									
取 組 実 績	<p>1 住民の交通手段の確保 離島である網地島を含め、住民の交通手段の確保を図った。</p> <p>2 児童・生徒等のスクールバスとしての活用 (1) 児童・生徒の通学など教育面に配慮した運行を行った。 (2) 通学時間や路線バスとの接続に配慮した運行を行った。</p>																									
成 果	<p>高齢者の通院、児童・生徒の通学などのため必要不可欠な交通手段となっている。 また、沿線住民の生活の足としても利用されている。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>40,879人</td> <td>38,426人</td> </tr> <tr> <td>(うち教育目的)</td> <td>9,844人</td> <td>9,277人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,517便</td> <td>7,469便</td> </tr> </tbody> </table> <p>運行概要</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>牡鹿地域線（右回り）</td> <td>平日11便/日</td> <td>日・休2便/日</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地域線（左回り）</td> <td>平日10便/日</td> <td>日・休1便/日</td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>平日 6便/日</td> <td>日・休4便/日</td> </tr> </tbody> </table>						H20	H21	利用者数	40,879人	38,426人	(うち教育目的)	9,844人	9,277人	運行便数	7,517便	7,469便	牡鹿地域線（右回り）	平日11便/日	日・休2便/日	牡鹿地域線（左回り）	平日10便/日	日・休1便/日	網地島線	平日 6便/日	日・休4便/日
	H20	H21																								
利用者数	40,879人	38,426人																								
(うち教育目的)	9,844人	9,277人																								
運行便数	7,517便	7,469便																								
牡鹿地域線（右回り）	平日11便/日	日・休2便/日																								
牡鹿地域線（左回り）	平日10便/日	日・休1便/日																								
網地島線	平日 6便/日	日・休4便/日																								
成果に係る評価	<p>人口の減少と相まって、利用者は減少傾向にあるものの、運行便数の確保や路線バスとのスムーズな接続により、児童・生徒を含む利用者の交通手段確保が図られた。 今後は市民バスの運行車両や離島の運行形態に関する取扱いを考慮した上で、住民バスに移行し、より効果的・効率的な地域内交通の運行に努める。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	31,979,000	30,197,543	645,000		5,325,424	24,227,119																				

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち																
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める																
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する																
小 事 業	男女共同参画推進費																				
事 業 名	男女共同参画推進事業																				
目的及び事業内容	<p>男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画啓発講演会・イベントの開催 ・女性人材育成事業の実施 ・男女共同参画啓発広報事業の実施 																				
取 組 実 績	<p>1 男女共同参画啓発講演会・イベントの開催</p> <p>(1) 男女共同参画社会の啓発に向け、下記講演会・セミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 高校生及び保護者を対象とするDV防止講演会 (平成21年6月11日(水)：石巻市立女子高等学校) ロ 男女共創セミナー(平成21年8月23日(日)：遊楽館) ハ 市民活動団体・女性団体交流事業 (平成21年11月7日(土)：河北総合センター) ニ 市職員研修(平成22年2月3日(水)：河北総合センター) <p>2 女性人材育成事業の実施</p> <p>(1) 女性が地域のリーダーとして活躍できるよう「女性人材育成セミナー」を開催した。 女性人材育成セミナー(市の総合計画、男女共同参画、プレゼンテーション研修等) (平成21年9月10日～11月19日(隔週木曜日：全6回：石巻文化センター)) 修了者の多くが女性人材リストに登載し、女性人材の確保が図られた。</p> <p>3 男女共同参画啓発広報事業の実施</p> <p>(1) 男女共同参画週間に啓発事業を実施した。 (DV相談窓口PR、男女共同参画川柳作品展覧会、図書館における関連書籍の展示)</p> <p>(2) 市内中学1年生全員にDV防止パンフレットを配付した。(市内23校、54学級：1,646部)</p> <p>(3) 市報掲載及びHPによる啓発を実施。</p> <p>(4) 市職員向け啓発チラシ「ともに」の発行。(年2回×302部)</p>																				
成 果	<p>成果指標である「女性人材リスト登載者数」は、平成20年度から実施している「女性人材育成セミナー」の効果もあり、増加傾向となっており、また、「セミナー等の参加者」も増加しており、男女共同参画社会実現に向けての市民意識高揚及び女性の社会参画の促進が図られた。</p> <p>「審議会等における女性委員の登用率」は、前年度と比較し0.1%減少しており、専門性等の要因が考えられるが、庁内はもとより市民全体の意識啓発をさらに進める必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画関連セミナー等の参加者 (うち男性割合)</td> <td>630人 (30.5%)</td> <td>521人 (23.6%)</td> <td>957人 (11.1%)</td> </tr> <tr> <td>審議会等における女性委員の登用率</td> <td>22.7%</td> <td>25.0%</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>女性人材リスト登載者数</td> <td>61人</td> <td>77人</td> <td>87人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	男女共同参画関連セミナー等の参加者 (うち男性割合)	630人 (30.5%)	521人 (23.6%)	957人 (11.1%)	審議会等における女性委員の登用率	22.7%	25.0%	24.9%	女性人材リスト登載者数	61人	77人	87人
主な指標項目	H19	H20	H21																		
男女共同参画関連セミナー等の参加者 (うち男性割合)	630人 (30.5%)	521人 (23.6%)	957人 (11.1%)																		
審議会等における女性委員の登用率	22.7%	25.0%	24.9%																		
女性人材リスト登載者数	61人	77人	87人																		
成果に係る評価	<p>近年増加傾向にあるDV被害を抑えるため、DV相談窓口PR、高校生対象の講演会及び中学生へのパンフレット配布等を実施したことにより、女性及び若い世代への予防啓発が図られた。</p> <p>男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現のためには、一層の啓発が必要であることから、基本計画に基づき、効果的な事業運営と適切な進行管理に努める。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
751,000	743,167	397,000			346,167																

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第2章	個性と創造豊かな未来の担い手をはぐくむまち		
	1 項	総務管理費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		
小 事 業		港湾都市交流費					
事 業 名		友好都市交流事業（エバレットコミュニティカレッジ短期語学研修）					
目的及び事業内容		石巻市の将来を担う人材育成と、語学力向上に伴う海外交流の促進及び将来におけるビジネス交流拡大を目指し、海外の歴史、地理、経済、文化、生活、風土等に直接ふれ、研修地の家族及び多くの人との交流を通じ、将来の国際人の育成を目的とする。					
取 組 実 績		1 エバレットコミュニティカレッジ短期語学研修の実施 (1) 平成21年度については新型インフルエンザの流行により事業を中止した。 平成8年度から平成21年度まで、述べ163名の参加状況である。					
成 果		平成21年度については、新型インフルエンザの流行により事業を中止した。 例年の参加者の中には、海外へ留学する者、語学系の大学・学部へ進む者などが見られる。 このことは、「新たな時代を創造する人材を育成する」「広い視野を持つ人材をはぐくむ」ことを通じ「個性と創造豊かな未来の担い手をはぐくむまち」づくりにつながるものである。					
		主な指標項目			H19	H20	H21
		エバレットコミュニティカレッジ 短期語学研修参加人数	目標	12人	12人	12人	
			実績	12人	12人	中止	
達成率	100%		100%	-			
成果に係る評価		財源である「国際交流基金」残高を踏まえ、平成20年度から個人負担金割合を5%づつ引き上げ、今年度は50%とした。世界的な不況の影響で、応募者数が減少傾向にあるが、アンケート調査等による参加者の満足度から当該事業の有効性を図りたい。					
予算の執行状況		（単位：円）					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
372,000	341,363			341,363			

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																														
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する																														
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ																														
小 事 業	国際交流推進費																																		
事 業 名	温州市との友好都市交流事業																																		
目的及び事業内容	日中両国政府の共同声明の原則と日中平和友好条約の精神に基づき、石巻市民と温州市民間の友好往来の増進と相互協力を求めるとともに、両市間の経済、文化、教育など幅広い分野において交流を行い、両市の繁栄と友好協力を促進する。																																		
取 組 実 績	<p>平成21年度は旧市で友好都市を締結（昭和59年10月23日）してから25周年という節目の年であったことから、平成21年6月30日、石巻市において「友好都市締結25周年記念事業に係る覚書」を締結し、政府間・書画展の開催・観光・教育、経済について交流を行うことで合意し、各交流を行った。</p> <p>派遣事業</p> <p>1 日程 平成21年10月10日（土）～17日（日）7泊8日</p> <p>2 人員 石巻市友好代表団15名、石巻市民友好訪問団10名 計25名</p> <p>3 訪問地 温州市、浙江省（杭州市）、北京市、上海市</p> <p>4 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>交流内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政間交流</td> <td>温州市政府表敬訪問</td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化交流</td> <td>日中友好書画展</td> <td>石巻市作品 書道15点、絵画6点出品</td> </tr> <tr> <td>観光交流</td> <td>石巻観光PR展</td> <td>石巻観光ガイドブック(中国語版)の配布、観光DVD(中国語版)の放映、観光パネルの展示</td> </tr> <tr> <td>経済交流</td> <td>水産加工施設・造船施設の視察</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民交流</td> <td>記念式典及び祝賀会</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>受入事業</p> <p>1 日程 平成21年11月4日（水）～6日（金）2泊3日</p> <p>2 人員 温州市政府代表団6名、温州市書画代表団6名 計12名</p> <p>3 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>交流内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政間交流</td> <td>市長表敬訪問</td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化交流</td> <td>日中友好書画展</td> <td>温州市書画作品 30点出品</td> </tr> <tr> <td>市民交流</td> <td>記念式典及び祝賀会</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					分野	交流内容	備考	行政間交流	温州市政府表敬訪問		文化交流	日中友好書画展	石巻市作品 書道15点、絵画6点出品	観光交流	石巻観光PR展	石巻観光ガイドブック(中国語版)の配布、観光DVD(中国語版)の放映、観光パネルの展示	経済交流	水産加工施設・造船施設の視察		市民交流	記念式典及び祝賀会		分野	交流内容	備考	行政間交流	市長表敬訪問		文化交流	日中友好書画展	温州市書画作品 30点出品	市民交流	記念式典及び祝賀会	
分野	交流内容	備考																																	
行政間交流	温州市政府表敬訪問																																		
文化交流	日中友好書画展	石巻市作品 書道15点、絵画6点出品																																	
観光交流	石巻観光PR展	石巻観光ガイドブック(中国語版)の配布、観光DVD(中国語版)の放映、観光パネルの展示																																	
経済交流	水産加工施設・造船施設の視察																																		
市民交流	記念式典及び祝賀会																																		
分野	交流内容	備考																																	
行政間交流	市長表敬訪問																																		
文化交流	日中友好書画展	温州市書画作品 30点出品																																	
市民交流	記念式典及び祝賀会																																		
成 果	<p>行政間交流では、今後の友好関係継続を確認できた。</p> <p>文化交流では、書画展を通じ、石巻市作品の水準の高さを温州市民に披露することができ、また、温州市の芸術作品を広く石巻市民に披露することができた。</p> <p>観光交流では、石巻観光ガイドブックの配布や観光DVDの放映、観光パネルの展示を通して広く温州市民に石巻市を紹介できた。</p> <p>経済交流では、水産加工技術者及び造船技術者の石巻市からの派遣について、今後具体的に希望があれば検討することとした。</p> <p>市民交流では、記念式典や祝賀会を通して広く交流を深めることができた。</p>																																		
成果に係る評価	<p>中国の富裕層の増加により日本への渡航者数も増加傾向にあることから、観光PRは経済効果に結びつく有効な手段の一つであると考え、今回初めて観光交流を交流の一環として取り入れた。</p> <p>中国語版観光ガイドブック及び観光DVDを作成し、温州市民にPRしたことで、今後の石巻市への観光旅行などが期待できる。</p> <p>また、食の安全を求める富裕層も増加していることから、品質の高い本市の農産物・水産加工物等の中国市場参入はビジネスチャンスの一つであると期待できる。</p>																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	8,124,714	8,097,784			8,097,784																														

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち
	1 項	総務管理費		第 6 節	日常の身近な安全性を高める
	14 目	交通安全対策費		(1)	交通事故発生を防止する
小 事 業	交通安全対策費				
事 業 名	交通安全推進事業				
目的及び事業内容	<p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、市民自身による交通事故防止に向けた取組みを推進することにより、安全で快適な交通社会の実現を図る。</p>				
取 組 実 績	<p>1 市民の交通安全意識の高揚</p> <p>(1) 交通事故が発生する可能性が高い薄暮時、広報車による市内広報を行い、外出時の反射材着用や自転車・乗用車の早めの点灯を呼び掛け、交通事故抑止に努めた。</p> <p>(2) 毎月5・15・25日の朝、児童・生徒の登校時間帯に通学路や交差点に立ち、道路横断時の安全誘導を行った。</p> <p>(3) 黄色い羽根や反射材用品、ポケットティッシュを配布し、身近な問題として捉えてもらうよう意識付けを図った。</p> <p>(4) 市報掲載や大型店舗での店内放送を通し、交通ルールの遵守とマナーの実践を呼び掛けた。</p> <p>2 交通安全知識の普及</p> <p>(1) 女性指導員が幼稚園・保育所を訪問し、紙芝居などを通して、交通安全知識の普及を行った。</p> <p>(2) 小・中学校の児童生徒からの交通安全に関する作文及びポスターの積極的な募集に努め、その過程で交通安全に関する意識の啓発を図った。</p> <p>3 交通安全運動の促進</p> <p>(1) 交通安全関係団体と連携し、立町商店街など市内中心部において飲酒運転根絶パレード及び中央二丁目において飲酒運転撲滅キャンペーンを実施し、飲酒運転の撲滅を訴えた。</p> <p>(2) ハンドルキーパーキーホルダーなどを配布し、飲酒運転を地域ぐるみで追放するよう市民に訴えた。</p> <p>(3) 春並びに秋の交通安全運動出動式を実施し、交通安全運動期間中の取組みに対する意識の高揚を図った。</p>				
成 果	<p>各期の交通安全運動のほか、関係機関・団体との連携により、市民に対し交通安全意識の高揚が図られた。</p>				
成果に係る評価	<p>ドライバー側・歩行者側の交通安全意識の高揚、普及に努めるため、現状の形で継続的に事業を推進していくべきと考える。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	30,148,000	28,780,811	3,242,000		355,000

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち																							
	1 項	総務管理費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する																							
	15 目	電子計算費		(2)	行政サービスの質の向上を図る																							
小 事 業	電子計算処理費																											
事 業 名	庁内情報化推進事業																											
目的及び事業内容	<p>住民情報システムの安定稼働を図り、事務の効率化及び住民サービスの向上に向けたシステムを構築する。 平成20～21年度内に汎用機を更新し、次期更新期までレンタルにより使用する。 情報系事務端末は、更新時期を迎えているものもあるが、計画的に更新を行い、効率的な情報共有による事務の効率化を図る。</p>																											
取 組 実 績	<p>1 住民情報システムの安定稼働維持 住民情報システムの安定稼働を常時監視し、設備機器の修繕及び予防保守に努めた。</p> <p>2 事務の効率化及び住民サービスの向上に向けたシステム維持 住民情報システムにおける各業務プログラムの新規開発及び改修に努め、事務作業の効率化を図った。</p> <p>3 情報系端末の安定稼働維持 情報系端末の安定稼働維持のため、各課からの要望に対応し機器の修繕及び予防保守に努めた。</p> <p>4 汎用機(ホストコンピュータ)の更新作業 現有汎用機の老朽化に伴い、平成20～21年度にかけて機器更新作業を開始し、新庁舎移転に伴う設置場所の変更にも併せて取り組んだ。</p>																											
成 果	<p>住民情報システムの監視の実施により、早期に故障を感知し予防的対応を含め、積極的に対応することにより安定的に稼働することに努めた。併せて、住民情報システムにおける各業務の処理及び業務プログラムの新規開発・改修作業について、各項目とも増加傾向にあり事務作業の効率化が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>項 目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">業務処理</td> <td>オンライン業務</td> <td>553件</td> <td>598件</td> <td>631件</td> </tr> <tr> <td>バッチ処理業務</td> <td>1,414件</td> <td>1,518件</td> <td>1,554件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プログラム開発等</td> <td>プログラム新規開発</td> <td>69件</td> <td>102件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>プログラム修正</td> <td>75件</td> <td>109件</td> <td>96件</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	項 目	H19	H20	H21	業務処理	オンライン業務	553件	598件	631件	バッチ処理業務	1,414件	1,518件	1,554件	プログラム開発等	プログラム新規開発	69件	102件	64件	プログラム修正	75件	109件	96件
区 分	項 目	H19	H20	H21																								
業務処理	オンライン業務	553件	598件	631件																								
	バッチ処理業務	1,414件	1,518件	1,554件																								
プログラム開発等	プログラム新規開発	69件	102件	64件																								
	プログラム修正	75件	109件	96件																								
成果に係る評価	<p>汎用機(ホストコンピュータ)の更新作業を平成20～平成21年度中に債務負担により実施、よって今後新規ホストのレンタル料が発生する。また、次期ホスト(平成26年度更新予定)の更新においては、システム全体の更新が必要であり、今後、次期システムは現行システムに固執せず多方面の検討が必要となる。</p> <p>更に、職員用端末機においても賃貸借期間の残期間等を考慮し計画的に更新を行うものとする。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	257,489,000	255,076,088			729,162	254,346,926																						

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																															
	1 項	総務管理費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																															
	16 目	市民会館費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																															
小 事 業	市民会館運営費・市民会館管理費																																			
事 業 名	市民会館運営事業																																			
目的及び事業内容	石巻圏域唯一の大ホールを活用し、芸術文化の振興及び向上を図り、もって市民の福祉増進に寄与する。 財団法人石巻市文化スポーツ振興公社を当該施設の指定管理者に指定し、事業を実施する。																																			
取 組 実 績	1 指定管理者 (財)石巻市文化スポーツ振興公社																																			
	2 指定管理料 24,466,648円																																			
	3 指定期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日																																			
	4 施設利用状況																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>比率</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>110回</td> <td>28.9%</td> <td>56,101人</td> </tr> <tr> <td>ホワイエ</td> <td>0回</td> <td>0.0%</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>会議室1～4</td> <td>234回</td> <td>61.4%</td> <td>4,246人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>37回</td> <td>9.7%</td> <td>666人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>381回</td> <td>100.0%</td> <td>61,013人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	回数	比率	入場者数	大ホール	110回	28.9%	56,101人	ホワイエ	0回	0.0%	0人	会議室1～4	234回	61.4%	4,246人	和室	37回	9.7%	666人	合計	381回	100.0%	61,013人							
	区分	回数	比率	入場者数																																
	大ホール	110回	28.9%	56,101人																																
ホワイエ	0回	0.0%	0人																																	
会議室1～4	234回	61.4%	4,246人																																	
和室	37回	9.7%	666人																																	
合計	381回	100.0%	61,013人																																	
5 大ホール種目別利用状況																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>公演数</th> <th>比率</th> <th>推定入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラシック・軽音楽</td> <td>29回</td> <td>26.4%</td> <td>22,575人</td> </tr> <tr> <td>舞踊・民謡</td> <td>13回</td> <td>11.8%</td> <td>13,200人</td> </tr> <tr> <td>講演会・研修会等</td> <td>9回</td> <td>8.2%</td> <td>6,806人</td> </tr> <tr> <td>劇(人形劇含む)</td> <td>6回</td> <td>5.4%</td> <td>5,215人</td> </tr> <tr> <td>準備・リハーサル</td> <td>42回</td> <td>38.2%</td> <td>1,980人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11回</td> <td>10.0%</td> <td>6,325人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110回</td> <td>100.0%</td> <td>56,101人</td> </tr> </tbody> </table>					種目	公演数	比率	推定入場者数	クラシック・軽音楽	29回	26.4%	22,575人	舞踊・民謡	13回	11.8%	13,200人	講演会・研修会等	9回	8.2%	6,806人	劇(人形劇含む)	6回	5.4%	5,215人	準備・リハーサル	42回	38.2%	1,980人	その他	11回	10.0%	6,325人	合計	110回	100.0%	56,101人
種目	公演数	比率	推定入場者数																																	
クラシック・軽音楽	29回	26.4%	22,575人																																	
舞踊・民謡	13回	11.8%	13,200人																																	
講演会・研修会等	9回	8.2%	6,806人																																	
劇(人形劇含む)	6回	5.4%	5,215人																																	
準備・リハーサル	42回	38.2%	1,980人																																	
その他	11回	10.0%	6,325人																																	
合計	110回	100.0%	56,101人																																	
6 芸術文化事業実施状況(再掲)																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>入場者数</th> <th>備考(内訳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主催事業</td> <td rowspan="6">6回</td> <td rowspan="6">6,676人</td> <td>1 米空軍太平洋音楽隊石巻演奏会 1,157人</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業</td> <td>2 「僕たちの好きだった革命」(演劇) 1,088人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会 1,156人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 鼓童ONE EARTH TOUR 1,132人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 松竹大歌舞伎公演 1,027人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6 エンゾ ヨイライフ講演会 野村克也講演会 1,116人</td> </tr> <tr> <td>市民参加型事業</td> <td>1回</td> <td>66人</td> <td>1 カラオケランドチャンピオンシップ 66人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7回</td> <td>6,742人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業名	回数	入場者数	備考(内訳)	主催事業	6回	6,676人	1 米空軍太平洋音楽隊石巻演奏会 1,157人	芸術鑑賞事業	2 「僕たちの好きだった革命」(演劇) 1,088人		3 陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会 1,156人		4 鼓童ONE EARTH TOUR 1,132人		5 松竹大歌舞伎公演 1,027人		6 エンゾ ヨイライフ講演会 野村克也講演会 1,116人	市民参加型事業	1回	66人	1 カラオケランドチャンピオンシップ 66人	合計	7回	6,742人							
事業名	回数	入場者数	備考(内訳)																																	
主催事業	6回	6,676人	1 米空軍太平洋音楽隊石巻演奏会 1,157人																																	
芸術鑑賞事業			2 「僕たちの好きだった革命」(演劇) 1,088人																																	
			3 陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会 1,156人																																	
			4 鼓童ONE EARTH TOUR 1,132人																																	
			5 松竹大歌舞伎公演 1,027人																																	
			6 エンゾ ヨイライフ講演会 野村克也講演会 1,116人																																	
市民参加型事業	1回	66人	1 カラオケランドチャンピオンシップ 66人																																	
合計	7回	6,742人																																		
成 果	市民に優れた舞台芸術等を鑑賞する機会を与え、また、各種団体を始めとするすべての市民に広くその場を提供したことにより、市民の日常生活をより豊かにし、文化の振興と福祉の増進が図られた。																																			
成果に係る評価	開館から40年以上を経過し、部分的な整備を行っているものの、建物の老朽化、ホール客席椅子、空調設備等各設備の劣化が著しい。施設の老朽化は、利用の促進を図るうえで障害となることや、利用者の安全性、快適性の確保が困難な状況をもたらしている。今後の利用における安全性を確認するため、耐震調査を実施することとしているが、市民の積極的な文化活動への参加や文化振興事業の推進を図っていくためにも、耐震補強や改築を含め有効な方策を検討しなくてはならない。																																			
予算の執行状況	(単位:円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
30,192,020	30,191,668			32,174	30,159,494																															

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち																								
	1 項	総務管理費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する																								
	17 目	情報プラザ運営費		(2)	行政サービスの質の向上を図る																								
小 事 業	情報プラザ関係費																												
事 業 名	情報プラザ運営事業																												
目的及び事業内容	市民の I C T 技術の習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する。																												
取 組 実 績	<p>1 月曜日及び火曜日としていた休館日を、月曜日のみとすることで開館日を増やし、一般利用者（市民）がより利用しやすい環境整備を図った。</p> <p>2 市民の I C T 技術習得のため、初心者向けパソコンセミナーを月2回（延べ78回）実施した。</p> <p>3 N P O 団体を活用して、専門家（有資格者）によるパソコンセミナー（延べ82回）の開催を実施した。</p> <p>4 施設利用者の裾野を拡げることを目的として、平成20年6月から毎月市報に、当館のブース（ワークキャビン）を利用したパソコン教室開催の案内を掲載し、パソコンでできることをセミナー方式で実施した。</p> <p>5 市民のインターネット環境の充実のためのプロバイダー業務を推進し、ユーザーに対し適切なサービスの提供を図った。</p>																												
成 果	<p>市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設・サービスを提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民の I C T 環境の整備が図られたものと思われる。</p> <p>情報プラザ利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワークキャビン利用者</td> <td>1,626人</td> <td>1,966人</td> <td>2,440人</td> </tr> <tr> <td>ネットデッキ利用者</td> <td>4,947人</td> <td>5,181人</td> <td>5,052人</td> </tr> <tr> <td>セミナー利用者</td> <td>169人</td> <td>839人</td> <td>1,529人</td> </tr> <tr> <td>インターネット外部接続利用者</td> <td>417人</td> <td>396人</td> <td>371人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,159人</td> <td>8,382人</td> <td>9,392人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H19	H20	H21	ワークキャビン利用者	1,626人	1,966人	2,440人	ネットデッキ利用者	4,947人	5,181人	5,052人	セミナー利用者	169人	839人	1,529人	インターネット外部接続利用者	417人	396人	371人	合計	7,159人	8,382人	9,392人
区分	H19	H20	H21																										
ワークキャビン利用者	1,626人	1,966人	2,440人																										
ネットデッキ利用者	4,947人	5,181人	5,052人																										
セミナー利用者	169人	839人	1,529人																										
インターネット外部接続利用者	417人	396人	371人																										
合計	7,159人	8,382人	9,392人																										
成果に係る評価	<p>開館日数の増加や開館時間に検討を加え、施設利用者の利便性の向上に努めることとし、当館の周知活動及び各種セミナー等の実施により、ワークキャビン、ネットデッキ、セミナー利用者等、今後の利用者の増加に結び付けたい。</p> <p>インターネット外部接続利用者については年々微減状態にあるが、平成22年度より光接続サービスを導入する予定である。</p> <p>光接続を希望しているユーザーは多く、積極的に P R することで新規ユーザー、変更ユーザーとも増えるものと見込まれる。</p>																												
予算の執行状況	（単位：円）																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																							
33,484,000	32,588,918			3,209,473	29,379,445																								

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち								
	1 項	総務管理費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する								
	18 目	新庁舎建設費		(2)	行政サービスの質の向上を図る								
小 事 業	新庁舎建設費												
事 業 名	新庁舎建設事業												
目的及び事業内容	<p>庁舎の老朽化、分散業務を余儀なくされている現状を解消し、市民サービスを向上させるとともに、市民と議会と行政が一体となり新しいまちづくりの拠点として、新庁舎建設に取り組む。</p> <p>平成 20 年 2 月に「さくら野東北株式会社」から寄附を受けた「さくら野百貨店石巻店」の建物を活用し、新庁舎とするための改修工事の実施及び早期かつ円滑な移転を図る。</p>												
取 組 実 績	<p>1 工事概要</p> <p>工事場所 石巻市穀町 5 6 番 4 ほか</p> <p>既存建物概要 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）7 階建、延べ面積 33,005㎡</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名</th> <th>工 事 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庁舎改修工事（その 1、その 2）</td> <td>天井改修、壁改修、床改修、内部改修に伴う間仕切り壁設置ほか</td> </tr> <tr> <td>新庁舎改修電気設備工事（その 1、その 2）</td> <td>電灯設備、動力設備、受電設備、発電設備、構内情報通信網設備、構内交換設備ほか</td> </tr> <tr> <td>新庁舎改修機械設備工事（その 1、その 2）</td> <td>空調和、換気、排煙、自動制御設備工事、給水、排水、衛生器具、給湯設備工事ほか</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 工事は、地元企業の受注機会の確保を図るため、地元企業に限定し、かつ分離・分割（3 階以下と 4 階以上を分割）したほか、相互牽制により、1 社あたり 1 工事の受注とする制限を設け入札を実施した。</p> <p>2 新庁舎の概要</p> <p>(1) 1 階 市役所総合案内、証明書自動交付機、商業スペース（エスタ）</p> <p>(2) 2 階～ 4 階 行政執務スペース</p> <p>(3) 5 階 市民開放スペース（市民サロン・子育てサロン・市民交流ルーム・市民活動ルーム）行政執務スペース</p> <p>(4) 6 階 市民ホール、市民ギャラリー、市議会（議場・委員会室・議会事務局等）、出納課等</p> <p>3 移転作業の概要</p> <p>(1) 改修工事を「その 1」「その 2」と分割発注したことにより、移転作業も 2 回に分けて実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 次移転（2、3 階） 3 月 5 日（金）執務終了後から 7 日（日） 執務開始日 8 日（月） ・ 第 2 次移転（4～6 階） 3 月 19 日（金）執務終了後から 22 日（月） 執務開始日 23 日（火） 					工 事 名	工 事 概 要	新庁舎改修工事（その 1、その 2）	天井改修、壁改修、床改修、内部改修に伴う間仕切り壁設置ほか	新庁舎改修電気設備工事（その 1、その 2）	電灯設備、動力設備、受電設備、発電設備、構内情報通信網設備、構内交換設備ほか	新庁舎改修機械設備工事（その 1、その 2）	空調和、換気、排煙、自動制御設備工事、給水、排水、衛生器具、給湯設備工事ほか
工 事 名	工 事 概 要												
新庁舎改修工事（その 1、その 2）	天井改修、壁改修、床改修、内部改修に伴う間仕切り壁設置ほか												
新庁舎改修電気設備工事（その 1、その 2）	電灯設備、動力設備、受電設備、発電設備、構内情報通信網設備、構内交換設備ほか												
新庁舎改修機械設備工事（その 1、その 2）	空調和、換気、排煙、自動制御設備工事、給水、排水、衛生器具、給湯設備工事ほか												
成 果	<p>分散されていた市役所機能が集約されるとともに、窓口業務を一つのフロアに配置したことにより、市民の利便性が向上した。</p> <p>また、市民開放スペースを 5 階・6 階に設置したことにより、市民開放スペースを目的に来庁する市民も多く、市民が気楽に集うことのできる開かれた庁舎を実現したほか、協働のまちづくりの拠点施設としての役割を高めつつある。</p>												
成果に係る評価	<p>明るく、そして広いワンフロアの執務室や、エレベーター・エスカレーター設備など、利便性の高い庁舎の実現が図られた。</p> <p>今後は、照明や空調機器などの各種設備の稼動状況などを点検、確認、調整を行ないながら、適切な庁舎管理手法を確立していく。</p>												
予算の執行状況	（単位：円）												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
2,274,929,641	2,188,638,156		1,819,700,000	368,938,156									

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち																																																
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する																																																
	25 目	諸費		(2)	公益的な市民活動を支援する																																																
小 事 業	行政推進費																																																				
事 業 名	集会所建設費補助金交付事業																																																				
目的及び事業内容	集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、既存建物を集会所として利用するために要する改装事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助が主な事業内容であるが、住民活動の拠点である集会所の建設等に対して支援を行うことで、市民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的とする。																																																				
取 組 実 績	1 集会所の新築事業 山下会館（石巻） 2 集会所の改築、増築及び改修事業 立神生活センター（北上） 3 集会所の改修及び公共下水道接続事業 追館公民館（河北） 4 集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業 (1) 開北会館（石巻） (2) 沖区会館（石巻） (3) 中津山上集落センター（桃生） (4) 鳥屋森公民館（河北） (5) 南境東部集会所（石巻）・・・経済危機対策事業 (6) 新田第二部落センター（桃生）・・・経済危機対策事業 (7) 原生活センター（河北）・・・経済危機対策事業																																																				
成 果	下記実績のとおり地域コミュニティの促進、地域の交流拠点の整備、防災対策における避難場所の整備等が図られているが、要望がある申請件数に対し、交付対応がしきれない状況になっている。 (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>補助額</th> <th>補助割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山下会館新築事業</td> <td>21,735</td> <td>21,735</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>立神生活センター改修事業</td> <td>1,762</td> <td>1,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>追館公民館の改修及び公共下水道接続事業</td> <td>3,344</td> <td>1,650</td> <td>上限（改修）、下水1/2以内</td> </tr> <tr> <td>開北会館の公共下水道接続事業</td> <td>2,150</td> <td>1,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>沖区会館の公共下水道接続事業</td> <td>1,200</td> <td>600</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>中津山上集落センターの公共下水道接続事業</td> <td>1,061</td> <td>530</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>鳥屋森公民館の公共下水道接続事業</td> <td>945</td> <td>472</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>南境東部集会所の公共下水道接続事業</td> <td>995</td> <td>497</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>新田第二部落センターの公共下水道接続事業</td> <td>2,069</td> <td>1,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>原生活センターの公共下水道接続事業</td> <td>1,650</td> <td>825</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>36,911</td> <td>29,309</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 実施件数10件÷交付要望件数24件＝交付率41.67%					事業名	事業費	補助額	補助割合	山下会館新築事業	21,735	21,735	全額	立神生活センター改修事業	1,762	1,000	上限	追館公民館の改修及び公共下水道接続事業	3,344	1,650	上限（改修）、下水1/2以内	開北会館の公共下水道接続事業	2,150	1,000	上限	沖区会館の公共下水道接続事業	1,200	600	1/2以内	中津山上集落センターの公共下水道接続事業	1,061	530	1/2以内	鳥屋森公民館の公共下水道接続事業	945	472	1/2以内	南境東部集会所の公共下水道接続事業	995	497	1/2以内	新田第二部落センターの公共下水道接続事業	2,069	1,000	上限	原生活センターの公共下水道接続事業	1,650	825	1/2以内	合 計	36,911	29,309	
事業名	事業費	補助額	補助割合																																																		
山下会館新築事業	21,735	21,735	全額																																																		
立神生活センター改修事業	1,762	1,000	上限																																																		
追館公民館の改修及び公共下水道接続事業	3,344	1,650	上限（改修）、下水1/2以内																																																		
開北会館の公共下水道接続事業	2,150	1,000	上限																																																		
沖区会館の公共下水道接続事業	1,200	600	1/2以内																																																		
中津山上集落センターの公共下水道接続事業	1,061	530	1/2以内																																																		
鳥屋森公民館の公共下水道接続事業	945	472	1/2以内																																																		
南境東部集会所の公共下水道接続事業	995	497	1/2以内																																																		
新田第二部落センターの公共下水道接続事業	2,069	1,000	上限																																																		
原生活センターの公共下水道接続事業	1,650	825	1/2以内																																																		
合 計	36,911	29,309																																																			
成果に係る評価	地域コミュニティ活動の拠点である集会所の建設・整備に対しては、市民と行政の協働のまちづくりを推進することから、今後も継続して補助を行っていく必要がある。																																																				
予算の執行状況 (経済危機対策事業分を含む)	(単位：円)																																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
29,329,000	29,309,000	3,972,000	21,700,000		3,637,000																																																

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する	
	25 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ	
小 事 業	非核平和都市推進費					
事 業 名	非核平和推進人材育成事業					
目的及び事業内容	市内中学生を広島に派遣し、原爆死没者慰霊式及び平和祈念式への参列などを通して、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と真の平和の尊さを学ぶことにより、恒久平和に貢献できる人材を育成する。					
取 組 実 績	1 研修地 広島市 2 研修期間 平成21年8月5日～8月7日 3 研修対象者 市内中学校に在籍する生徒8名 (市内中学校23校を3グループに分け(1グループ7～8校)、中学校長の推薦を受けた者) 4 研修内容 平和記念資料館、原爆ドーム等の見学 広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式への参加 被爆体験者講話 5 参加者 8名(女8名) 平成21年度まで延べ89名が参加 (湊、萩浜、渡波、稲井、万石浦、鮎川、大原、寄磯の各中学校から1名)					
成 果	市の将来を担う中学生が平和祈念式への参加等の研修を通して真の平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発が図られた。また参加中学生は事後研修を通して、周りの中学生に広島での経験を伝えることで非核平和の推進が継続して図られている。 〈事後研修内容〉 ・感想文(800字程度)を提出させ、文集にし市立中学校(23校)、地元新聞社に送付 ・文化祭での展示発表 ・文化祭ステージ発表 ・弁論大会での発表					
成果に係る評価	終戦から60年以上が経ち、祖父母、両親でさえ戦争体験がない世代である中学生に戦争の悲惨さや恐ろしさを実感させることができるのは、この事業以外には難しい。また現地での研修だけではなく、事後研修を行うことで研修生以外へ非核平和の周知が図られている。恒久平和に貢献できる人材育成という事業の目的を達成するために、今後もこの事業の継続を行う。					
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	888,695	888,695				888,695

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち																								
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する																								
	25 目	諸費		(2)	公益的な市民活動を支援する																								
小 事 業	NPO支援推進費																												
事 業 名	NPO支援オフィス支援推進事業																												
目的及び事業内容	<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として設置し、市民公益活動団体、市民、事業者及び市の連携・交流の場所を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議スペースの提供 ・市民活動情報の収集及び提供 ・ホームページの管理及び更新 ・NPOに関する相談への対応 																												
取 組 実 績	<p>1 NPO支援オフィスの管理運営 平成18年度より指定管理者制度を導入し、特定非営利活動法人いしのまきエヌピーオーセンターが指定管理者となっているが、指定管理制度を導入することにより、多様化する利用者の様々なニーズにより効果的かつ効率的に対応することができた。</p> <p>2 登録団体数 平成21年度末の登録は76団体であり、それらの団体に対する会議室や情報提供など、さまざまなサービスの提供を行った。</p> <p>3 NPOに関する相談対応 NPO団体設立・運営に係る相談、補助金の案内等</p> <p>4 石巻市NPO支援オフィス通信「月刊んぼん舗」の発行 毎月1日に発行し、登録団体のインフォメーション、取材日記、助成金情報、講座開催情報等掲載し、広く情報発信を行った。</p> <p>5 「んぼん舗まつり」の開催（平成21年8月1日（日）、2日（月）） 石巻川開き祭りに合わせ開催し、多くのNPO団体等がステージ発表や活動のPRを行った。</p>																												
成 果	<p>NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室 利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図 書 閲覧者数</th> <th>パソコン 利用者数</th> <th>機 器 利用者数</th> <th>掲示物 依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21実績</td> <td>2,582人</td> <td>180件</td> <td>42件</td> <td>11人</td> <td>76人</td> <td>343人</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>139人増</td> <td>14件減</td> <td>6件減</td> <td>-</td> <td>47人増</td> <td>68人増</td> <td>6件減</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体登録団体 76団体(前年度末件数から4団体増) ・メールボックス利用団体数 8団体 ・貸しロッカー利用団体数 12団体 <p>市民活動の情報発信基地として、情報機能の充実を図りながら情報提供や相談対応にあたるなど、石巻地域のNPOの育成・支援が図られた。</p>					区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数	H21実績	2,582人	180件	42件	11人	76人	343人	26件	前年度比	139人増	14件減	6件減	-	47人増	68人増	6件減
区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数																						
H21実績	2,582人	180件	42件	11人	76人	343人	26件																						
前年度比	139人増	14件減	6件減	-	47人増	68人増	6件減																						
成果に係る評価	<p>サービス向上のための方策として、利用者ニーズ把握のための定期的な利用者ヒアリングや、月刊誌の発行やホームページによる情報提供、また、「んぼん舗まつり」のイベント開催におけるPR活動を行ってきた成果として、来館者数等が前年度と比較して増となっている。</p> <p>今後も、NPO支援オフィスの機能や役割を広く広報し、多くの市民や団体に公益活動への参加を促し、協働のまちづくりを推進するため、市民公益活動団体への支援は今後とも充実しながら継続していく必要がある。</p>																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	5,500,000	5,499,999				5,499,999																							

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する								
	25 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ								
小 事 業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費												
事 業 名	山形県河北町との友好都市交流事業												
目的及び事業内容	国内において、唯一同町名である「山形県河北町」との相互交流を促進し、教育・文化・福祉・産業等の振興を図り信頼と友情を深め、もって両町の発展に寄与する事を目的に、平成13年1月旧河北町と山形県河北町は友好都市の盟約を締結した。平成17年4月、新石巻市の誕生により平成18年1月30日新たに友好都市盟約を締結した。												
取 組 実 績	<p>1 見学ツアーの実施</p> <p>(1) 「山形県河北町見学ツアー」の実施（平成21年9月20日（日）） 「谷地どんがまつり」「紅花資料館」「ひなの湯」等を見学し、石巻市と違った歴史文化に触れながら交流を図った。</p> <p>(2) 「大漁まつり等見学ツアー」の実施（平成21年10月18日（日）） 「いしのまき大漁まつり等見学ツアー」では、山形県河北町から39名が来石し、「鮮魚セリ」に参加するなど、海の幸等で交流を図った。</p> <p>2 物産交流事業の実施</p> <p>(1) 山形県河北町への見学ツアーの際、谷地どんがまつりへ出店し、特産品（しじみ汁・ほたて焼き・焼きかまぼこ・鯨大和煮缶詰・金華さば缶詰等）の販売を行い、物産交流を図った。</p> <p>(2) 石巻市開催の「いしのまき大漁まつり」と「かほく産業まつり」では、山形県河北町の認定農業者の会の方々が出店し、特産品（洋なし・和なし・りんご・野菜等）の販売を行い、物産交流を図った。</p>												
成 果	<p>両市町の連携が強まり、地域相互間でそれぞれの特性に応じた交流が図られた。 なお、民間ベースの事業として、例年「道の駅 かほく・上品の郷」が主体の「山形県河北町さくらんぼ狩りツアー」も開催されており、また、両市町のシニア野球チームの交流戦も行われ、交流の裾野も広がりを見せている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山形県河北町見学ツアー参加者数 (参加希望申込者数)</td> <td>30人 (174人)</td> <td>30人 (217人)</td> <td>30人 (137人)</td> </tr> </tbody> </table>					実施年度	H19	H20	H21	山形県河北町見学ツアー参加者数 (参加希望申込者数)	30人 (174人)	30人 (217人)	30人 (137人)
実施年度	H19	H20	H21										
山形県河北町見学ツアー参加者数 (参加希望申込者数)	30人 (174人)	30人 (217人)	30人 (137人)										
成果に係る評価	<p>「山形県河北町見学ツアー」は、例年応募者が多い人気の交流事業であることから、両市町の更なる親睦を深めるため、平成22年度からは参加者の枠を30人から60人に拡大することとした。 今後、参加希望者を把握しながら、民間委託の手法も検討する必要がある。</p>												
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	81,000	79,371				79,371							

予算科目	2 款	一般会計	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち
	1 項	総務管理費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する
	28 目	蛇田支所等複合施設建設費		(2)	行政サービスの質の向上を図る
小 事 業	蛇田支所等複合施設整備事業費				
事 業 名	蛇田支所等複合施設整備事業				
目的及び事業内容	<p>蛇田地区における協働のまちづくりの中核施設として「蛇田支所及び蛇田公民館の複合施設」を整備する。</p> <p>1 整備用地取得 2 地質調査、基本設計、実施設計 3 複合施設建設 約1,400㎡（詳細面積は今後検討）</p>				
取 組 実 績	<p>1 整備用地取得 (1) 蛇田支所等複合施設を整備するための用地、蛇田中央土地区画整理組合地内の保留地3,472.34㎡を取得した。</p>				
成 果	<p>当該地区は、三陸縦貫自動車道の石巻河南インターチェンジ周辺の大規模な宅地開発が進んできたが、一方で、住民サービスの拠点となる蛇田支所及び蛇田公民館については、老朽化と狭隘化等が大きな課題となっており、関係団体や地域住民からは再三にわたり施設整備の要望がなされてきていた。そのような中で、これまで保留地とされていた蛇田支所等複合施設整備用地を取得することにより、次年度以降の地質調査及び基本設計等の実施に向け、順調に事業を進めることができた。</p>				
成果に係る評価	<p>複合施設建設が実現されることにより、支所の立地条件改善及び利便性の向上が図られるほか、地域まちづくり活動の中核施設として、本市が目指す「協働のまちづくり」が推進される。</p> <p>当該用地の取得が実現したことにより、今後は、より利便性の高い施設の建設を目指した検討を行っていく必要がある。</p>				
予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
199,000,000	199,000,000				199,000,000

予算科目	2 款	総務費	基本計画	—	—																																																																																														
	1 項	総務管理費		—	—																																																																																														
	29 目	定額給付金給付事業費		—	—																																																																																														
小 事 業	定額給付金給付事業費（生活対策分）																																																																																																		
事 業 名	定額給付金給付事業																																																																																																		
目的及び事業内容	<p>景気後退下での住民の不安に対処するため、住民への生活支援を行うとともに、あわせて、住民に広く「定額給付金」を給付することにより、地域の経済対策に資することを目的とする。</p> <p>給付対象者 基準日（平成21年2月1日）現在で、本市の住民基本台帳に記録されている方又は外国人登録原票に登録されている方で世帯主の方</p> <p>給付金額 世帯員1人につき12,000円（19歳～64歳） 20,000円（18歳以下及び65歳以上）</p> <p>申請期間 平成21年4月20日～平成21年10月20日</p>																																																																																																		
取 組 実 績	<p>(1) 給付費</p> <p>・対象者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>世帯数</th> <th>人 数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60,989</td> <td>166,301</td> <td>2,565,940</td> </tr> </tbody> </table> <p>・給付件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>世帯数</th> <th>人 数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口座振替給付</td> <td>60,143</td> <td>165,162</td> <td>2,549,856</td> </tr> <tr> <td>現金給付</td> <td>253</td> <td>437</td> <td>6,828</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>60,396</td> <td>165,599</td> <td>2,556,684</td> </tr> <tr> <td>給付率</td> <td>99.0%</td> <td>99.6%</td> <td>99.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・給付人数内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">日本人</th> <th colspan="2">外国人</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18歳以下</td> <td>28,055</td> <td>561,100</td> <td>28</td> <td>560</td> <td>28,083</td> <td>561,660</td> </tr> <tr> <td>19歳～64歳</td> <td>93,761</td> <td>1,125,132</td> <td>651</td> <td>7,812</td> <td>94,412</td> <td>1,132,944</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>43,085</td> <td>861,700</td> <td>19</td> <td>380</td> <td>43,104</td> <td>862,080</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>164,901</td> <td>2,547,932</td> <td>698</td> <td>8,752</td> <td>165,599</td> <td>2,556,684</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 事務費 (平成20年度分1,971,673円を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費 目</th> <th>金額(円)</th> <th>内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員手当等</td> <td>11,538,298</td> <td>職員時間外手当</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>264,763</td> <td>臨時職員社会保険料</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>5,956,400</td> <td>臨時職員賃金</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>3,589,673</td> <td>印刷製本費、消耗品費、燃料費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>19,267,485</td> <td>郵送料、振込手数料、電話料、広告料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>8,923,188</td> <td>システム改修業務、データ入力業務、ネットワーク仮設業務</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>23,940</td> <td>コピー機リース料</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>49,563,747</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					世帯数	人 数	金額(千円)	60,989	166,301	2,565,940	区 分	世帯数	人 数	金額(千円)	口座振替給付	60,143	165,162	2,549,856	現金給付	253	437	6,828	合 計	60,396	165,599	2,556,684	給付率	99.0%	99.6%	99.6%	区 分	日本人		外国人		合 計		人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	18歳以下	28,055	561,100	28	560	28,083	561,660	19歳～64歳	93,761	1,125,132	651	7,812	94,412	1,132,944	65歳以上	43,085	861,700	19	380	43,104	862,080	合 計	164,901	2,547,932	698	8,752	165,599	2,556,684	費 目	金額(円)	内 訳	職員手当等	11,538,298	職員時間外手当	共済費	264,763	臨時職員社会保険料	賃金	5,956,400	臨時職員賃金	需用費	3,589,673	印刷製本費、消耗品費、燃料費	役務費	19,267,485	郵送料、振込手数料、電話料、広告料	委託料	8,923,188	システム改修業務、データ入力業務、ネットワーク仮設業務	賃借料	23,940	コピー機リース料	合 計	49,563,747	
世帯数	人 数	金額(千円)																																																																																																	
60,989	166,301	2,565,940																																																																																																	
区 分	世帯数	人 数	金額(千円)																																																																																																
口座振替給付	60,143	165,162	2,549,856																																																																																																
現金給付	253	437	6,828																																																																																																
合 計	60,396	165,599	2,556,684																																																																																																
給付率	99.0%	99.6%	99.6%																																																																																																
区 分	日本人		外国人		合 計																																																																																														
	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)																																																																																													
18歳以下	28,055	561,100	28	560	28,083	561,660																																																																																													
19歳～64歳	93,761	1,125,132	651	7,812	94,412	1,132,944																																																																																													
65歳以上	43,085	861,700	19	380	43,104	862,080																																																																																													
合 計	164,901	2,547,932	698	8,752	165,599	2,556,684																																																																																													
費 目	金額(円)	内 訳																																																																																																	
職員手当等	11,538,298	職員時間外手当																																																																																																	
共済費	264,763	臨時職員社会保険料																																																																																																	
賃金	5,956,400	臨時職員賃金																																																																																																	
需用費	3,589,673	印刷製本費、消耗品費、燃料費																																																																																																	
役務費	19,267,485	郵送料、振込手数料、電話料、広告料																																																																																																	
委託料	8,923,188	システム改修業務、データ入力業務、ネットワーク仮設業務																																																																																																	
賃借料	23,940	コピー機リース料																																																																																																	
合 計	49,563,747																																																																																																		
成 果	<p>定額給付金を給付することにより、子育てを支援し、高齢福祉年金等の受給者や所得の低い高齢者等の経済的負担を軽減するとともに、個人消費の喚起を促すことができた。</p> <p>また、定額給付金の給付を契機に発行された「石巻プレミアム商品券」との相乗効果で、地域経済の活性化に大きく貢献することができた。</p>																																																																																																		
成果に係る評価	<p>消費増加効果としては、定額給付金がなかった場合と比較して消費が増加した金額は、定額給付金受取総額に対する割合の32.8%になったとの全国の15,000世帯に対するアンケート調査の結果（有効回収率は61.3%）が出ている。</p>																																																																																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																		
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																													
2,688,028,327	2,604,276,074	2,604,247,747		28,327																																																																																															

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 1 章	ともに創る協働のまち
	2 項	徴税费		第 4 節	安定した行財政運営を構築する
	2 目	賦課徴收費		(1)	持続可能な行財政運営を推進する
小 事 業	固定資産税関係費				
事 業 名	固定資産評価に係る基礎資料整備事業				
目的及び事業内容	<p>土地及び家屋の評価に係る評価基礎資料について、合併前、本庁と総合支所管内において、評価の手法や台帳及びデータ等の管理方法が異なっていたことから、合併協議及び事務事業調整結果に基づき、平成21年度の評価替えから順次評価の方法等を一元化し、より均衡ある評価を図るものである。</p> <p>また、本事業により整備された基礎資料は、今後の課税資料となることから、基礎資料の適正な更新が必要であり、今後は航空写真による実地調査を実施し、より適正・公平な課税を目指していくもの。</p>				
取 組 実 績	<p>1 土地</p> <p>(1) 平成20年度において評価統一が完了し、平成21年度から市街地宅地評価方法により課税している。</p> <p>(2) 平成21年度において土地一筆台帳のシステム化が完了した。</p> <p>2 家屋</p> <p>(1) 平成21年度に河南総合支所管内約17,500棟において基礎資料整備事業を実施した。</p> <p>(2) 平成22年度には、桃生・河北総合支所管内約19,000棟、平成23年度には、北上・雄勝・牡鹿総合支所管内約12,500棟の家屋外形図と本庁地区机上調査を実施する。</p> <p>また、本庁地区の家屋一棟台帳のシステム化を実施する。</p>				
成 果	<p>1 土地</p> <p>(1) 平成21、22年度と宅地等において市街地宅地評価方法により評価統一を図り、課税した。評価方法の変更に伴う混乱等もなく適正に評価統一され、より本庁と総合支所間の課税の均衡が図られた。</p> <p>(2) 土地一筆台帳のシステム化により、所有権移転等の事務処理について迅速且つ適正化が図られた。</p> <p>2 家屋</p> <p>河南総合支所管内の家屋外形図の整備により、納税者への税額等においてより明確な説明が可能となり、また、実地調査の迅速化等が図られた。</p>				
成果に係る評価	<p>本事業が完了することにより本市全体の固定資産税等における基本的な評価方法は統一されることになる。土地に係る評価統一は、ほぼ順調に推移しているが、家屋においては、一部に未調査等の家屋が存在することが確認されている。これらの未調査等家屋の存在については、基本的には地方税法に基づき適正な措置をとることとしているが、税額の変更が伴うことから地域の実情や経緯等を踏まえ、所有者の理解を得るなど適切な対応をとることが必要と考えている。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	20,685,000	20,422,500			

予算科目	2 款	総務費	基本計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち																		
	5 項	統計調査費		第 3 節	快適な生活環境を実現できる地域にする																		
	3 目	地籍調査費		(1)	良好な地域を形成する																		
小 事 業	地籍調査費																						
事 業 名	地籍調査事業																						
目的及び事業内容	<p>毎筆の土地について、地番、地目、所有者の調査や境界及び地籍に関する測量を行い、正確な「地籍図」及び「地籍簿」を作成し、地籍の明確化を図る。 対象面積121.95Km²</p>																						
取 組 実 績	<p>実施状況</p> <p>調査対象地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水明南一丁目ほか7字 0.23Km² 地籍細部測量、面積測定、地籍図及び地籍簿の作成 ・ 水押一丁目ほか2字 0.16Km² 地籍図根多角測量、地籍細部測量及び一筆地調査 																						
成 果	<p>地籍図及び地籍簿の整備により土地所有者の利便(土地管理)はもとより、土地行政に係る基礎資料を得ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事業進捗率 (調査済累計面積/要調査面積)</td> <td>目標</td> <td>89.4%</td> <td>89.6%</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>89.4%</td> <td>89.6%</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目		H19	H20	H21	事業進捗率 (調査済累計面積/要調査面積)	目標	89.4%	89.6%	89.7%	実績	89.4%	89.6%	89.7%	達成率	100%	100%	100%
主な指標項目		H19	H20	H21																			
事業進捗率 (調査済累計面積/要調査面積)	目標	89.4%	89.6%	89.7%																			
	実績	89.4%	89.6%	89.7%																			
	達成率	100%	100%	100%																			
成果に係る評価	<p>旧石巻市の地籍調査も旧市街地に進み事業の進捗率は89.7%となったが、近年、負担金を支出している県の財政再建プログラム(平成18~21年度)により事業費(事業面積)の縮小があり、事業の進捗がペースダウンしている。本事業(地籍の明確化)の必要性や住民が受ける行政サービスの公平性及び税負担(固定資産税・都市計画税、国民健康保険税の資産割等)並びに高齢化社会がさらに進む状況を考えると、合併協定にもあるとおり事業の早期完了に向けた取り組みを図ることが必要である。今後、人員の増も見込めない中では、財源の確保を前提に事業の包括委託を実施することが「効率的な行財政の運用」を行う手段の一つと考える。</p>																						
予算の執行状況	(単位:円)																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
6,465,000	6,399,041	3,990,000			2,409,041																		